

*Published since 1971*

# 日工販NEWS

July  
2024

工作機械業界への知見を広げ、日工販会員の絆を深める広報誌

海辺のひまわり



日本工作機械販売協会  
JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

*Cadmac*

きる

まげる

つなぐ ... の DX を  
IT 技術で実現する

株式会社キャドマック



July  
2024



「海辺のひまわり」

SE 合格者に  
ご回覧をお願いします。

## CONTENTS

- 2 特集 第 55 回通常総会
- 15 分かりやすい話題の技術  
「自動棒材供給機『OS20RE II』のご紹介」  
育良精機株式会社 漆原 正浩
- 18 分かりやすい話題の技術  
「部品加工における生産性の向上を追求した  
5 軸制御立形マシニングセンタ DA500」  
株式会社牧野フライス製作所 益田 明彦
- 20 SE 教育  
日工販 SE 合格者 第 248 回発表
- 21 リレー随筆  
ヤマザキマザックトレーディング株式会社 奈須 峻平
- 22 私の読書評  
「心を整える。」 大石機械株式会社 杉山 直哉
- 23 私の健康法  
大日金属工業株式会社 長井 友弥
- 24 自社紹介  
植田機械株式会社 金沢 龍浩
- 26 工作機械と私  
株式会社大誠 佐藤 竜彰
- 27 統計資料  
「工作機械・FA 流通動態調査 1」  
「マシニングセンタ動向 & NC 施盤動向」  
「工作機械業種別受注額 (2024 年 5 月)」
- 30 議事録  
「第 311 回定例理事会議事録」 「西部地区 正会員懇談会」
- 31 お知らせ  
日工販ニュース表紙写真の公募について

特集

# 第55回通常総会

## 議事録

1. 日 時：2024年6月5日（水） 13：00～13：41

2. 場 所：第一ホテル東京

### 【議 事】

#### 1. 開会（13：00）

中島専務理事が進行係となり、別紙「総会次第」に従い議事を進めた。  
総会の開催にあたり、高田会長による挨拶があった。



高田会長挨拶

#### 2. 総会の成立：

専務理事より「本日の出席社数はリモート参加も含め 45 社（62 名）内、議決権行使者は 45 名、有効な委任状提出 26 社。従って、有効議決権社は合計 71 社であり、現在の在籍正会員数は 81 社につき、出席は 50% を超えており、この総会は定款 20 条に定める定定数を満たし成立する」旨報告した。

#### 3. 議案の審議：

定款第 14 条に従い高田会長が議長に就き、第 1 号議案から第 4 号議案まで審議の結果、それぞれ次の通り承認された。

##### ① 第 1 号議案 2023 年度事業報告並びに決算案承認の件

(1) 議長が事業報告書の「概要」を述べた。

(2) 専務理事が「決算報告書」を説明した。

給与手当については、職員の引継ぎ費用を見ていたが、実際には引継ぎがほぼなく退社となった。一方で臨時アルバイトの費用が発生。賃借料では不動産登記費用の予算計上漏れ。

教育特別会計では、基礎・SE・更新研修全てで予算より受講者が増えたことで収入増。

(3) 議案の審議に先立ち議長は監事に対し監査結果の報告を求めた。



高田議長による進行



第55回総会の様子



受付支援の皆様



(4) 監事を代表して山本監事から「5月17日、日工販事務所において、三橋監事が銀行残高および現金残高の実査を行い、その後2023年度の収支決算書、貸借対照表、その他決算諸帳簿類の会計士による監査を経て、各書類を精査した結果、適正であることを認める。」旨報告があった。

(5) 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

② 第2号議案 2024年度事業計画案並びに予算案承認の件

(1) 議長が事業計画案を提示、専務理事から予算案について説明した。

(2) 一般会計予算は、収入の部について、暫定会費廃止後の本来の会費にて収入を計算。事業補助費のうち、調査広報委員会にJIMTOF2024参加関連費用を計上、またHP更新が必要だが、必要費用・計上方法確定後、追って理事会に付議する旨説明。

(3) 教育事業特別会計は、予算上の参加人数は基礎150名、SE110名、更新70名、永世SE手続き60名。

(4) 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

③ 第3号議案 会長・副会長承認の件

(1) 議長から、金子隆視氏及び赤澤正道氏より辞任の申し出があったことに伴い、理事互選により、下記2名を新たに副会長として選出したい旨説明あり。

(新任) 島津 昌孝 (三菱商事テクノス(株) 代表取締役社長)

(新任) 岡本 淳 (宮脇機械プラント(株) 代表取締役社長)

(2) 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

④ 第4号議案 暫定会費を中止し本来の会費に戻す件

(1) 議長から、新型コロナウイルス感染状況も落ち着き、昨年度の協会活動もかなり活発におこなわれたこと、諸物価高騰により、協会経費が増加していること、および当協会の年度末繰越金も適正なレベルに近づいていることから、2022年度より臨時措置としていた月額会費を中止し、2024年度から本来の会費に戻したいとの説明があった。

(2) 議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

4. 議長挨拶：

議長は、以上を以って全議案の審議が終了したことを告げると共に、出席者の協力に対し謝辞を述べた。(13:41)

5. 会長表彰：

年度の会長表彰対象者として、

サンコー商事(株) 取締役社長 小島 徹理事 及び

株式会社 NaITO 代表取締役社長 坂井 俊司理事

に表彰状及び記念品の贈呈が会長より行われ両氏が謝辞を述べた。(13:45)



受賞とご挨拶 (小島理事)



受賞とご挨拶 (坂井理事)

記念講演

## 「今の組織をもう一度見直そう ～成果が出る人材育成・組織作りとは～」

講師：ハロルド・ジョージ・メイ氏

〔講師略歴〕

元 株式会社タカラトミー 代表取締役社長	元 日本コカ・コーラ株式会社 副社長
元 新日本プロレスリング株式会社 代表取締役社長	現 アース製薬株式会社 社外取締役
現 株式会社コロプラ 社外取締役	現 アリナミン製薬株式会社 社外取締役
現 パナソニック株式会社 社外取締役	現 キューピー株式会社 社外取締役

1963年オランダ生まれ。ニューヨーク大学修士課程修了。日本コカ・コーラ(株)、(株)タカラトミーを始め、赤字経営から大幅黒字経営を成し遂げるなどの経営手腕が評価され、これまでに多数のマスメディアにも出演。2018年には新日本プロレスリング(株)の代表取締役社長兼 CEO に就任し、過去最高売上最高利益を達成。日本語、英語、オランダ語など6か国語を操り、ユニークなマーケティング手法でヒット商品を連発。第45回経済大賞ではグローバル賞に輝かれ経済界からの注目も浴びている。

〔記念講演概要〕

入場は新日本プロレスリング(株)の元社長らしく、大音量ミュージックが流れる中、チャンピオンベルトならぬ“社長”ベルトを右肩にかけ颯爽とリング(?)に……ご登壇されました。

演題にある「成果が出る人材育成・組織作りとは」について、多くの“ネタ”を用意してくれました。

冒頭では1枚の写真を材料に、皆が企業の方向性を決めて動かすパワーを秘めているのだということ、そしてそれをどう発揮していくのか、するのか……という観点から、講師自らの経験に基づいて講話が進められました。



講師 ハロルド・ジョージ・メイ氏の  
入場パフォーマンス

常にビジネスを改善してよくし続けていくことがどの企業でも必要だが、企業が進化し続けていくためには何が必要なのかを参考にするために、今どのようなビジネス本が出ているのかを研究してみた。アメリカで毎年出版されているビジネス本は約15,000冊、そのビジネス本の3分の1は戦略モノ、リーダーシップものが3分の1、そしてマーケティングものが残り3分の1……を占めている。

この3つが世界的に注目されているテーマとなっていると言えるが、その起点は世界がコロナ禍になった事も大きく影響していると感じる。このコロナ禍が世の中の様々なものを変えることとなったが、日本企業が今後特に変わるのは雇用そのものだと感じている。日本の組織は未だに姿勢や努力に重点を置いているが、外資系ではJOB型、成果主義に重みを置いていることが多い。普通の企業が一番お金をかけているところは製造コストだが、二番目に使っているのは人件費。そこまで大きな投資をするのであれば、社員の成果を引き出す、やる気を起こさせる、いかにモチベーションを上げさせるかが注目すべき観点である。

そのために必要な TOP10 を順にお話していただきましたが、この時点で、会場に参加した聴講者はこれから講師の口をついて出る言葉の、まさに一言一句を聞き漏らすまいとする前のめりの姿勢で、既に十分に話に惹き込まれていました。

--

### 1) 企業に対する誇りがパワーの源

毎日楽しい仕事、毎日うまくいくような仕事はこの世には存在しない。企業や商品のプライドを上げることが、ある意味パワーの源だと思っている。

事例 1) コカ・コーラ社では広い受付に世界地図を置いて販売国を示し、自分の会社がどれほど凄いかを訴えた。

事例 2) サンタクロース (コカ・コーラ社のマスコットキャラクター) の衣服にコカ・コーラ社のコーポレートカラーを利用し影響力を示した。

日本の企業はこれを忘れかけてはいないか。自社の商品やサービスが消費者に対してどれだけのインパクトを与えているのか、もう一度見直すべきではないかと思っている。

### 2) 人の本心を突き止める採用プロセスを行う

いい人材が欲しいがプライバシー保護法を意識する必要もある。二人に一人は転職をしている (= 離職率が高い) 実態がある中、面接に来た者が自社の企業風土に合うかどうかを見極める必要がある。通勤時間、上司の雰囲気、職場環境など、働く環境は本当に自分に合っているのか? プラスマイナスは当然あるが、新たな経験が積める一方で、毎一回からやり直すことにもなる。それを見抜く必要がある。

事例) 本心がどの程度強いのか? をみる面接時の対応 (やりとりが全て試験)。その企業の実際の過去事例への対応。

### 3) 1人1人がリーダーシップ精神を持つ

最も大事な二つの要素・・・①どれだけイニシアティブが取れるか (自分から事を起こす、自分から意見を言う、自分からプロジェクトの提案をする・・・などの能力のこと。外資系企業では1年でどの程度取ったかも人事評価のひとつ)。②どれだけ熱意があるか (自分の言っていることがどれだけ伝わるか、どれだけ腹落ちするか、どれだけ記憶に残るか・・・という相手への伝達熱量は半減していく)。リーダーは多少オーバーでも 300 くらいの熱量で伝える。

### 4) 発想の転換

見る角度が違う社員がいることが大事。見る角度が同じ人たちばかりであれば組織としては一枚岩にはなれるが、次世代の考え方やサービス、商品を産み出すハードルは非常に上がる。

実例) ミネラルウォーターで勝つような商品を産み出す (差別化の困難な商材をいかに売るか? 競合商品の調査から開始。「いろはす」は容器を ECO ボトルに変更。こういう発想の転換を持つことが大事。)

## 5) 自分を進化させ続ける

研修等を通じて自分を進化し続ける（自分のスキルアップ）ことが大事。①ビジネススキルの向上、②デジタル力、③世の中の動向を把握しておくこと（すべてを把握する必要はなく、今の世の中の動きを、例えばモノマガジンや日経トレンディを視て「フォントの使い方、色使い、価格帯、登場人物、アピールの仕方・・・」などを今の商品やサービスに取り入れることで、いい企業アピールなどが可能になる）。

外資系企業は研修に力を入れる。スキルやノウハウだけではなく、ネットワーキングも重要。ただ、経験上、次の三つは役に立った。①ネゴシエーションワークショップ（交渉力向上研修）、②プレゼンテーション能力（伝達能力研修）、③部下とのコミュニケーション研修



ハロルド・ジョージ・メイ講師による  
熱のこもった講演

## 6) 高い目標を掲げる

一見無理と思われる目標でも、ある程度達成すれば、大きな自信に繋がる。ケネディ大統領のアポロ計画の事例（1960年当時の技術力を考えると有人の月面着陸は大変困難な計画。ケネディがかけた言葉「やれば出来る。一緒にやろう。どうすれば出来る？ アイデアだけでもいいから出してくれ。計画書だけでもいいから出してくれ。何が必要なのか俺に言ってくれ。」・・・毎日リーダーがこれを言い続けると、ほんの少しずつ周りはその気になってくるもの。8年後に実現→国が変わった！）

## 7) 360度評価で社員の満足度を上げる

社員を評価して士気を上げる。日本企業が言う「社員は会社の重要な資産・財産だ」は本心か？ P/Lにある「人件費」（これは“費用”、抑制すべきカテゴリに入る表現）、外資系企業は「人件投資」と言い表すがこれだけでも違いがうかがわれる。日本企業の社員が不満に思うTOP10:「報酬・福利厚生」（→そうになっている背景を考えるべき）。「評価が公平公正になっていない」（→上司からの評価だけではなく、部下からの評価も実施=360度評価→満足度も向上する）。年に一度やりたい仕事・やりたくない仕事のトップダウンヒヤリングに基づく配置転換→意欲向上。ホワイト500の認定を受ける（心身健康の観点）ことも一つの手法。

## 8) 組織の三大課題を解決する

大企業も中小企業も大体抱えている組織の課題は次の三つ。→①共通の認識がない、②各部署が協力し合わない、③速くほしい重要な情報の伝達がされていない。

どれもコミュニケーション不足、組織の職位が多い（6レイヤー程度がちょうどいいが、過去に働いた日本企業では14レイヤーという事例もあった。末端のレイヤーに辿り着いた頃には違う情報になっている。）。



オープンコミュニケーションの必要性（全社員を集めて企業景況の説明。数字を使った伝達。成功例失敗例も話す。）

### 9) 雰囲気を作ること

就任した企業でのアナリスト説明会。説明に際して利用した部屋（おもちゃを部屋全体に配したような部屋→そういった雰囲気づくりで、聞く側の企業に対するイメージは変わるもの）。

### 10) 仕事を楽しくやる

人生 100 年のうち 3 分の 1 は睡眠。起きているうちの半分は仕事、残りはプライベートな時間。仕事の中では嫌なことも楽しいこともあるが、嫌なことを乗り越えて、少しでも楽しそうな職場づくりを作ることも大事なのではないか。

事例) 月に 1 回 1 時間、祭りと呼ぶ楽しい時間を共有。「褒めること」「ありがとうの言葉」の大切さ。

--

今回講演において触れられなかった多くの話題については「百戦錬磨」という本をお読みいただきたい旨のご紹介を以って、本日の講演を終了いたしました。

全体を通して流れるような話術と、その内容に至っては聴講者が今知りたい、今持っている課題を払拭したい、そのようなまさしく惹き込まれた 1 時間半でした。

ハロルド・ジョージ・メイ講師には、貴重なお時間とお話をいただいたことに、改めて厚く御礼申し上げます。



会場を埋め尽くす講演の様子

## ～ 第 55 回 通常 総 会 懇 親 パ ー テ ィ ～



日工販役員



役員によるお出迎え



### 主催者挨拶

日本工作機械販売協会 会長 高田 研至 (株井高 取締役社長)

本日はお忙しい中、日本工作機械販売協会総会懇親パーティーに、経済産業省産業機械課課長 安田様、日本工作機械工業会会長 稲葉様他、多くの方々にご臨席を賜りまして誠にありがとうございました。

また日頃は日工販の事業活動に対しまして、賛助会員を始めとする皆様には多大なるご協力を賜っておりますことに改めて御礼を申し上げる次第でございます。

先ほど第55回通常総会は滞りなく終了いたしましたことをご報告させていただきます。

さて、世界情勢は本年の新年会以降大きな変化はなく混沌とした状況であり、経済面ではよい面も出てまいりましたが、まだまだ厳しい状況が続く中、全てにおいて不透明不確実な度合いが一段と増している状況であります。

転じまして、日工販についてお話させていただきます。まず数字の話ではありますが、我々の関係団体であります日工会殿の4月までの数値が発表され、全体では多少厳しい状況になっておりますが、先日日工会殿総会におきまして稲葉会長から「後半から回復基調となり、通期予測の1兆5千億は達成可能」とのお話がありました。そのような中、内需ですが4月までの数値は1,480億円と全体よりも厳しく進んでおります。目標の5千億に対して3,520億円を必要とする状況の中、全産業においては昨年より悪化することなく対前年で相当アップすることが期待されてもいますことから、日工販としては5月～8月の目標として1,600億円(月400億円)、9月～12月においては1,920億円(月480億円)を目途にして、日工会殿3分の1にあたるこの数値は必達ということで是非日工販の皆様は頑張っていたいただきたいと思います。

さてそのような中、自動車業界についてピックアップしますと、先日認証における残念な発表がありましたが、BEVに対する投資は着実に進められており、またエンジン関係の投資も見直されるという中、トヨタ自動車殿においては1,300cc、1,500ccの4気筒エンジンが開発され2025年には基本的に発注、2026年には納入、2027年には立上げという計画が発表されており、それに伴い部品サプライヤーへも投



資に期待がされている状況にあります。

商社の立ち位置はユーザに近く、情報をいち早くお届けし、工程集約型・自動化・DX化などモノづくりの環境改善をする一翼を担ってまいりたいと思っています。

教育事業においては、基本教育は日工販教育事業を活用し、その後は各社において教育し、メーカー殿とPR打合せができる営業員を育てていきたいと思っています。

本年11月にはJIMTOFが開催され、当協会も2小間ですが出展し知名度アップを目指すと共に、各団体の皆様方とともに前回以上の集客、PR活動をしてまいりたいと考えています。

最後になりますが、本日お集りの会員各位のますますのご繁栄と本日ご列席の皆様のご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 来賓ご挨拶 ① 経済産業省 産業機械課 課長 安田 篤様

只今ご紹介に与りました経済産業省産業機械課の安田と申します。

日工販総会後の懇親会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

一言ご挨拶申し上げたいと存じます。

まず日本経済の状況でございますが、今年に入り株価も上がりまして、また賃金に関しましても春闘の回答率が5%を超えているという状況でございます。さらに国内投資という面では民間

企業の設備投資が30年ぶりに100兆円を超えるという状況でございます。日本経済は確実に潮目の変化のタイミングを迎えているという認識でございます。これはこれまで長く続いたコストカット型の経済から物価も賃金も投資も伸びる、所謂成長型の経済に持続的に変えていくということが今求められている大きなテーマと考えているところでございます。

経済産業省におきましてもその流れを受けまして、国内投資を後押ししていく施策、DX、GXへの対応を加速させていくためのメニューなどに今取り組んでいるところでございます。

そうした状況の中で、工作機械業界におかれましては、DX、GXの流れも確実に来ているものと思います。まさにユーザーの方からIoT、あるいはデータの見える化、そういったデジタル化への要求もあると思いますし、GXという意味では新しい再生可能エネルギー関係の製品、あるいは難しい加工が求められるもの等々が工作機械に求められる役割になっています。

そうしたユーザーニーズのまさにフロントにいらっしゃるのが日工販であると考えておりまして、ユーザーのニーズをメーカーにつなぐ役割が大きく求められていると考えているところでございます。

そうした状況の中で御協会におかれましては、セールスエンジニアの育成という人材育成のしくみも設けていまして、まさにこうした最新の状況に対応できるような人材を育成いただいていると考えているところでございます。是非こうした取り組みを引き続き推進していただければ大変ありがたいと考えております。





そしてもうひとつ、サプライチェーン全体で経済発展を遂げるという文脈におきましては、取引環境を適正にしていくというのも重要なテーマになってまいります。これが賃上げにも繋がると考えておりました、価格の転嫁であるとか、あるいは約束手形の手形サイト60日以内などにつきまして、ユーザー～メーカーの間で繋いで頂いて、取引環境の適正化にも貢献いただけると大変有難いと考えています。

ここで1つ告知なんですが、福島の復興の関係でございます。昨年の8月からアルプス処理水の海洋放出が安全性を確認した上で始まっていますが、三陸常磐で獲れた水産物の消費がなかなか拡大しないという状況にあります。是非インターネットで「三陸常磐ものネットワーク」というキーワードで検索いただきたいと存じますが、既に1,100を超える企業の方々にご賛同を頂きまして、三陸常磐産の水産物を社食やお弁当などで消費を拡大するという取組みにご協力を頂いているところでございます。是非こうした活動にもご理解を賜りますと幸いに存じます。

そしてもうひとつ、いよいよ来年の4月からとなりますが大阪関西万博の開催が迫ってまいりました。今年残りの期間、皆様方と一緒に万博の成功に向けまして気運を盛り上げていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、日工販、そして会員の皆様のみまますのご発展と、本日ご列席の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、私からのお祝いの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



ご歓談の様子



## 来賓ご挨拶 ② 一般社団法人日本工作機械工業会 会長 稲葉 善治様

皆様こんにちは。ただいまご紹介に与りました日本工作機械工業会 会長の稲葉でございます。

本日は日本工作機械販売協会の懇親パーティにお招きいただきまして誠にありがとうございます。

また平素は工作機械の販売に格別のご尽力を賜りまして心より感謝を申し上げます。

さて、世の中ではロシアのウクライナ侵攻、中東のパレスチナ紛争など、悲惨な状況が続いています。これらの紛争に加えて米中の覇権争い、中国の不動産危機、アメリカ大統領選挙の行方、および迷走する日本の政局など先行き不透明不確実な状況が継続しています。

このような状況で、日工会の受注総額が2022年の春にピークを付けた後、工作機械の市場では緩やかな調整局面が続いております。ただ、1兆5千億円という旗は死守するつもりでいますので、先ほどハロルド・ジョージ・メイ氏のご講演にもございましたように、目標は5%アップではなくて5倍10倍にということをおっしゃっておられたのですが、我々は1兆5千億円は必達ということで頑張っていきたいと考えております。

最近の会員企業へのヒヤリングの調査結果によりますと、足下では改善傾向が実感できていない会員が依然として多くあります。一方で、年後半からの回復に向かう動きが見えてきており潮目が変わりつあると捉えている会員企業も徐々に増えてきている印象がございます。

このように市場はまだら模様の状況ではございますが、調整局面から回復局面に向かう転換期に差し掛かっていると申し上げてよいのではないかと考えております。従いまして、工作機械販売の最前線におられる日本工作機械販売協会の皆様におかれましては、この機を逃さず商談の開拓と推進をよろしくご願ひ申し上げます。

さて、今年の11月に東京ビッグサイトでJIMTOF2024が開催されます。JIMTOFでは工程集約、自動化、DX、省エネなど技術・機能を備えた最新の工作機械とシステムを出品いたします。日本工作機械販売協会の皆様におかれましては、JIMTOFに一人でも多くの方々をお連れ頂きまして商談の機会として最大限にご活用いただきたく存じます。

我々工作機械メーカーは、日本工作機械販売協会の皆様と共に手を携えて製造業の発展に貢献してまいりたいと常に思っております。

このように厳しい状況でこそ従来にも増してご協力ご支援を賜りますようによろしくご願ひ申し上げます。

結びにあたり、日本工作機械販売協会の一層のご発展とご出席の皆様のますますのご健勝ご繁栄を心から祈念申し上げます私の挨拶といたします。

本日は誠におめでとうでございます。



新規会員ご挨拶 ① [賛助会員] 二村機器株式会社 代表取締役 二村 忠宏様

二村機器(株)代表取締役の二村忠弘でございます。このように歴史のある日本工作機械販売協会の賛助会員としてご承認をいただき誠にありがとうございます。

当社は旋盤研磨機に使われます回転センタの製造販売を行っておりまして、今年で78年目になります。

1970年(昭和45年)に日工販が創立されると HP で拝見いたしました。私が生まれるより前、NC 機が売れ出した頃かと存じます。その頃は私ども回転センタは手動機に使うものであって、自動機になって・・・という少し生ぬるい考え方をしておりました。その後 NC 機が自動機になり、またマシニング、半導体関係と工作機械が大きく広がっていく中、日工販に所属されている会員様は非常にご尽力をされて様々な販売網に携わってこられたものと思います。小さな、たかが回転センタと思われる方もいるかも知れませんが、マザーマシンの中で加工物に接する道具、チップとチャックとセンタの1つでもございます。しっかりと頑張っていきたいと考えていますので、何卒ご協力、アドバイスの程よろしくお願い申し上げます。

本日は入会のご承認をいただきまして誠にありがとうございました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



新規会員ご挨拶 ② [賛助会員] 株式会社長谷川機械製作所 代表取締役社長 長谷川 透様

(株)長谷川機械製作所 代表の長谷川透でございます。

この度、賛助会員の入会をご承認いただきまして誠にありがとうございます。

このような伝統のある素晴らしい会に入会できたことを心より喜んでおります。私どもは小型の NC 旋盤、マシニングセンタを製造しているメーカーでございますが、小さな会社ながらもキャッチコピーとして「大は小を兼ねない」という、小さな機械を極めて存在価値の高いものにする会社になろうという目標を立てています。

いい機械を作ろうと日夜知恵を絞って努力はしているものの、やはり販売されないと会社として成長ができません。

是非皆様のお力をお借りしまして、私ども成長できればと願っております。

今後ともご指導とご交誼のほど何卒よろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございます。



## 乾杯のご発声 日本工作機械輸入協会 会長 金子一彦様

日この度は日本工作機械販売協会総会、誠にとおめでとうございます。日本工作機械輸入協会 会長の金子でございます。

今年の賀詞交歓会で初めて乾杯の音頭を取らせていただいたのですが、今年の1月から輸入協会の会長を務めております。まだまだ顔も名前も知られておりませんが、この機に皆様にご存じいただければと存じます。

さて、輸入協会と日工販との関係も、長年我々が輸入した工作機械、工作機器を日工販の会員の皆様により国内のユーザー様にご紹介いただきまして売っていただいている、この関係をこれからも引き続き続けていければと思っています。

今年はシカゴでのIMTS、そしてJIMTOF2024という大きなイベントが2つあります。輸入協会もシカゴに団体を派遣して、いいものを日本の皆様にご紹介し、それを日工販の皆様にお客様のところへ届けて頂



乾杯!



ければと思っています。

輸入協会も来年70周年を迎えます。4月に大きなイベントを控えておりますので、皆様もご参加いただければと存じます。

それでは乾杯に移らせていただきたいと思います。日本工作機械販売協会の皆様のますますのご繁栄、そしてここにご参集いただいております皆様のご多幸を祈念いたしまして・・・乾杯!

## 中締め 日本工作機械販売協会 副会長 岡本 淳 (宮脇機械プラント株式会社 代表取締役社長)

皆さん、こんばんは。この度日工販副会長を拝命いたしました、宮脇機械プラント株式会社の岡本でございます。

この業界に、またものづくりの魅力を発信していけるように少しでもお役にたてればと思っています。

一言ご挨拶させていただきます。

本日、皆様長い時間、日工販総会、講演会、懇親パーティにご参加いただきましてありがとうございました。

また、常日頃、日工販各地区の様々な行事、講習会、情報交換会、見学会などにご参加いただき、また私どもが一番力を入れておりますSE教育にも賛助会員の皆様含めご参加いただき、業界の事業振興にご尽力いただいておりますことに心より御礼申し上げます。





皆様のお話を聞いていますと、景況感にまだまだ不透明感が漂っている雰囲気があるようです。

私ども去年の終わりは事業もまだ良くて、経済だけではなくスポーツも盛り上がりを見せました。

私が所属する会社は、実はヴィッセル神戸（Jリーグ）のオフィシャルパートナーなんですけど、Jリーグの首位チームは現在 FC 町田ゼルビアとなっています。調べましたらこのチームは一昨年 J2 で 15 位、去年 J2 優勝、そして今年 Jリーグ 首位となっているのです。実はこのチームは、28 年をかけて日本一の高校サッカーチームに育て上げられた青森山田高校の黒田剛監督を招聘しているのですが、練習の時から監督もコーチも選手も勝負にこだわって負けないサッカーをする徹底ぶりだということです。試合ではファーストショット、相手より先に最初のシュートを打つ、先取点を取る、ここに凄く殺気立った執念を以ってゲームをする、とのことでした。

高校サッカーの指導者が Jリーグの監督になってこれだけ強いチームにするというのは凄いことだと思いました。今日のハロルド・ジョージ・メイ氏の講演ではございませんが、やはりトップが代わるとここまで変わるのか、という典型的な例でございます。

本日ご列席の方々も、経営者あるいは経営幹部の方ばかりでございます。これから年後半にかけてまだまだ斑模様が続きますが、皆さんのあつい熱意と行動、これがお客様の投資意欲に火をつける、あるいは悩む背中をひとつ押してあげるという我々の行動が、大きなウェーブになるのではないかと考えております。

是非是非、この業界を盛り上げて日工会殿と日工販とが両輪になって大きく前進していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

それでは中締めということですので、ここにご列席の日工会殿を始めとする関連各団体のますますのご繁栄と、皆様のご多幸ご健勝を祈念いたしまして、三本締めにて締めたいと思います。ではお手を拝借！



中締め



司会進行 中島専務理事



# 分かりやすい話題の技術

No.  
193

## 自動棒材供給機 「OS20RE II」のご紹介



育良精機株式会社  
省力機器事業部  
開発部次長

漆原正浩

### 自動棒材供給機「OS20RE II」のご紹介

今回紹介させていただく機械は自動棒材供給機 BARTOP「OS20RE II」という機種となります。自動棒材供給機は通称バーフィーダーとも呼ばれます。



OS20RE II

自動棒材供給機とは旋盤へ棒材を自動供給する機械で、当モデルは2.5m、3.0m、4.0mの長さの材料を供給可能な仕様が標準ラインアップされています。

現在は小型旋盤においては標準的に自動棒材供給機をつけていただき、CNC自動旋盤による自動化・自動運転による量産加工に使用されております。

近年、大量生産を考えた設備よりも様々な加工に適応可能な自動盤が求められるようになってきています。給材機においても様々な仕様が求められているため、顧客要望に対応する多機能、拡張型モデルで充実したオプション構成で仕様を変更できる「OS20RE II」を開発いたしました。

## 1. フロアスペースの削減

既存の工場では最新の設備と最高のパフォーマンスが発揮できる周辺装置を取付け増設したいが、これ以上設置できない。新しい工場建設では、工場の床面積あたりの生産高が設備設置計画の基準となります。

そこで当社が現在の進めている取り組みの中の「フロアスペースの有効活用」を意識して開発を行い旧モデル比 -220mm を実現しました。これにより、フロアあたりの生産性の向上に寄与できるものと考えております。



OS20RE II 短縮

## 2. 連続自動運転時間の延長

従来機に比べ、機械幅を同等としながらも棒材収容量を +20%増量し、無人での連続自動運転時間の延長に貢献いたします。

## 3. 段取り時間の短縮

加工する材料径の変更に伴う材料棚部も段取り替えの際は工具レスで材料径に合ったメモリに直感的に合わせるだけで段取り変えが完了するため、段取り時間を短くすることが可能です。

機械のダウンタイムの削減、作業時間の短縮、疲労軽減など、昨今の人手不足問題の解決にも効果が望めます。

また、材料の回転を受けるガイドレールに関しても、材料の振動対策として効果が望める材料外径に合わせたレール内径変更や旋盤機種の変更にともなうサイズの変更に当社独自の固定方式により工具レスで容易に行うことが可能です。

## 4. 豊富なオプション構成

お客様のニーズによって標準棚の他にさまざまな材料棚の方式をとることが出来るようになっております。

### ① 延長棚

材料をより多く収容出来ます。例えばあと数本自動で加工できれば夕方から朝まで無人で生産していただけるのに、とお困りのお客様にお勧めです。

### ② 二段棚

延長棚よりさらに多く材料を収容したい、材料をより多く載せたいがフロアスペースに余裕が無いという場合にお勧めです。



二段棚

### ③スクリュー棚

ストック時に材料同士を接触させたくない、特殊断面形状の材料（異形材）で通常の供給方式だと1本取り出しが困難な場合選定いただくことで問題を解決できます。

### ④割出リング棚

育良精機の BARTOP で旧来長年採用しておりました割出リング式棚にも根強いファンのユーザーがいらっしゃるため使い勝手を変えたくないというユーザー様に選定いただけます。

また、棚から1本取り出す動作において、外径の異なる材料が混入していると次工程に進めない構造となっておりますので、異なる棒材径の誤投入防止に役立ちます。

棒材径変更の段取り替えが頻繁ではなく同一径を継続的に加工しているユーザーにお勧めです。

## 5. ワンストップトータルソリューション

当社はワンストップトータルソリューションをコンセプトに掲げ、自動棒材供給機 BARTOP を中心とした周辺の装置（中高圧クーラント装置、オイルクーラー、ミストコレクター他）も立体的に配置し空間を最大限に利用できるよう開発しております。



ワンストップソリューション一式

今後もお客様の課題を解決し、工場で役立つ新商品の開発に力を注いでまいります。

## 部品加工における生産性の向上を追求した 5軸制御立形マシニングセンタ DA500

株式会社牧野フライス製作所  
営業本部営業企画部  
プロモーション課マーケティングチーム

益田明彦

### 1. 概略

本稿では、当社の部品加工向け5軸制御立形マシニングセンタ「DA500」で実現する部品加工における「生産性の向上」について詳しく紹介する。



### 2. 仕様

- 主軸回転速度：50 ~ 20,000min<sup>-1</sup>
- テーブル作業面の大きさ：φ 500 mm
- 軸移動量 (X × Y × Z)：  
800 × 900 × 550 mm
- 軸移動量 A 軸 (傾斜軸) / C 軸 (回転軸)：150° / 360° (連続)
- 早送り速度 (X / Y / Z)：60000 / 58000 / 60000 mm/min
- 早送り速度 (A / C)：18000 / 36000° / min
- 工作物最大寸法 (直径 × 高さ)：800 × 500 mm (条件付)
- 工作物許容質量：350 kg



### 3. 特長

DA500は時間あたりの生産性と面積あたりの生産性と2つの部品加工における生産性の向上を追求している。

#### (1) 時間あたりの生産性向上

主軸加速度、位置決め時間、工具交換時間、高度な制御技術といった非切削時間を短縮し、生産全体に対するサイクルタイムの短縮につなげている。

##### ① 高出力の主軸

最高 20,000 回転の高速主軸は、優れた応答性により、1.7 秒で 20,000 回転に到達する。従来機と比較して加速時間が 70%短縮されている。

##### ② 位置決め時間

コラムは主軸に対するオーバハングが少ない構造となっており、Z 軸の割出位置に関係なく歪みや振動を抑えている。また、段違いのガイドによって軽量化され、機械の動きによる変位や振動が抑えられる。さらに、低重心のテーブルユニットはダイレクト・ドライブ・モータ（DD モータ）によって、振動が極限まで抑制され、高速動作を可能としている。

##### ③ 工具交換時間

サーボ式 ATC シャッタ、カム式 ATC 機構を採用し、工具の交換時間を従来機と比較して 50%短縮されている。

##### ④ 高度な制御技術

・イナーシャ適応制御

ワークの重量によってテーブルにかかる慣性を自動で測定し、最適な軸の加減速をおこなう。

#### (2) 面積当たりの生産性向上

本加工機のサイズでは最小の設置面積を実現した。最大φ800mmのワークを加工することができ、パレットマガジン仕様でも加工可能な最大ワーク径の変更はない。さらにパレットマガジン（オプション）にはバリエーションが準備されており、設置面積を変えずにワークサイズを選択できる。

##### ① コンパクトなフロア面積

W：5390mm、D：3025mm、面積 16.3㎡の非常に省スペースに設置が可能で、パレットマガジン仕様（オプション）でも面積 21.9㎡と同様に省スペースである。

##### ② ワークサイズに応じた 4 種類のパレット配置

加工する最大ワークサイズに応じて、4 種類のパレットマガジン仕様（オプション）を準備。φ680 × 6 枚仕様、φ800 × 4 枚仕様、φ800 × 2 + φ550 × 3 枚仕様、φ550 × 8 枚仕様から選択が可能。4 種類とも設置面積は変わらず、W：7290mm、D：3305mm、面積 21.9㎡である。

##### ③ 旋削加工機能（オプション）

簡単な旋削加工であれば、段取り替えを行わず、そのまま旋削加工を行うことができる。一つの機械に工

程を集約することで、工場の省スペース化に貢献する。また、一般的に切削能力が落ちる旋削仕様主軸でも独自の技術により標準機と同等の切削能力を実現している。テーブルの最大回転速度は  $800\text{min}^{-1}$  である。発熱対策には主軸にて実績のある軸芯冷却方式を採用しているため、高速回転時も長時間連続加工が可能である。

#### 4. まとめ

DA500の導入により、非切削時間を最大限短縮し、パレットマガジンによる自動化、5軸加工や旋削加工による工程集約で、効果的な「生産性の向上」を実現する。

## SE教育

### 日工販SE合格者 第248回発表

2024年6月～7月の合格者は11名です。

#### 2024年6月 合格者数：4名

認定No.	会社名	合格者名
24-33-4011	伊藤忠マシンテクノス(株)	後藤 謙太
24-33-4012	宮脇機械プラント(株)	佐々木 駿
24-33-4013	宮脇機械プラント(株)	萩原 太樹
24-33-4014	(株)日研工作所	川相 圭吾

#### 2024年7月 合格者数：7名

認定No.	会社名	合格者名
24-33-4015	(株)東陽	本間 達也
24-33-4016	(株)東陽	宮下 鉄平
24-33-4017	(株)東陽	長田 佑介
24-33-4018	(株)井高	玉川 正樹
24-33-4019	宮脇機械プラント(株)	中村 優里
24-33-4020	(株)マックマシンツール	平石 優希
24-33-4021	(株)ニコン	陳 傑

## リレー随筆



ヤマザキマザックトレーディング  
株式会社  
中日本販売部営業1エリア  
浜松テクニカルセンタ

奈須 峻平



皆様、初めまして。ヤマザキマザックトレーディング株式会社 中日本販売部営業1エリア 浜松テクニカルセンタに所属しております奈須峻平と申します。この度、株式会社ジーネットの近藤様より伝統ある「リレー随筆」のバトンを受け取りました。本投稿の依頼を受けた際、皆様は何をお伝えしようかと考えました。せっかくの貴重な機会ですので、自身を知っていただくためにも自己紹介をさせていただきます、私の経歴と休日の過ごし方についてご紹介させていただきます。

私は愛知県飛島村で生まれ、その後は親の転勤の都合もあり愛知、静岡で育ちました。今年29歳になります。小中高は野球を10年間続けておりました。大学時代よりボディビルを始め今でもトレーニングは続けています。

就職活動では、モノづくりの世界に興味があったため、機械業界を軸に活動を行い新卒で機械商社に就職しました。3年間商社で営業を行い、その後ヤマザキマザックトレーディング株式会社に転職し約2年半が経ちます。前職と同じ機械業界ではありますが工作機械については経験が少ないため日々勉強を続けております。

ここからは私の休日についてご紹介したいと思います。私は1年前に静岡県浜松市に異動が決まり、愛知より異動してきました。静岡市には昔住んでおりましたが、浜松市は行ったことがない初めての土地のため、新生活を楽しみにしておりました。

浜松市は温暖な気候で天竜川や浜名湖など全国的に有名な自然スポットが点在しています。浜松

城や五社神社など歴史的に有名なスポットが多い点も浜松市の魅力かと思えます。

私の最近の休日の過ごし方ですが、日中はジムでトレーニングし、夜はサウナで整うことを楽しみにしています。私は趣味でボディビルをしておりますトレーニング歴は今年で10年目です。自宅近くにジムオープンの情報を知ったことをきっかけに、19歳の頃、ジムに入会しました。最初は身体が変化しないことに挫折して一度リタイアしましたが、諦めずに通い続け今でも継続できています。2021年には愛知県のボディビル大会に出場し優勝することも出来たため「継続は力なり」を実感しております。最初の頃と比較し身体の変化は少なくなってきていますが、日々発見もあります。身体作りはトレーニング、食事、睡眠の全てを管理しなければならないためセルフマネジメントが必要です。この力は仕事にも少なからず生かしているのではないかと思いますので、今後もトレーニングは継続していく考えです。

サウナは昨今のサウナブームもあり、2年前から定期的に通っています。自分は薬草サウナ、塩サウナが好きで、休日の夜は銭湯に行き3セット整うことがいつの間にかルーティンとなっています。サウナの効果として酸素摂取を良くして疲労回復、温度刺激でストレス解消、血管拡張による血圧低下など体に様々ないい効果があると言われております。

今年是全国の有名サウナスポットを巡りたいと考えております。

▶ 次号は株式会社兼松 K GK の兼好優馬 様です。



## 「心を整える。」

著者：長谷部 誠

(出版：幻冬舎文庫)

### 「心を整える。」から学ぶこと

今年4月、ドイツ・ブンデスリーガでプロサッカー選手として活躍している長谷部誠選手が今シーズン限りでの引退を表明しました。長谷部選手と言えばドイツでの活躍はもちろんのことですが日本代表として3度のワールドカップ出場、その間キャプテンとしてチームを束ねた功績が光ります。個性溢れるチームメイトのまとめ役、監督・コーチと選手の橋渡し、メディアへの対応などプレー以外でも能力を求められるのが代表キャプテン。長谷部選手はその能力が潜在していたものではなく経験とトレーニングにより養うことができたと分析しています。その秘訣とは何かを2011年に刊行された自己啓発本「心を整える。」を再読し、「心」について改めて考えてみることにしました。



「心」とは…、よく耳にする言葉ではありますが説明しようとすると案外難しいものです。形があるわけでもなく色もないので表現しにくいですが熟語には引用されることが多く、「心身」だとか「中心」といったように物事において非常に重要な要素だということがわかります。また、我々の業界においても「芯」というワードが多用されますが、基準となるもの、そして真っ直ぐであるものという意味に使われます。つまり様々な状況においても揺らぐことなく動じてはならないものということです。しかしながらこの「心」は場面によって様子を変え、必ずしも同じ心情を維持できるわけではありません。人間は喜怒哀楽という心理の多様性を持ち合わせ、あらゆる感情が混在しています。特に負の感情は適正な判断を狂わせ冷静さを失いかねません。そのような状況に置かれたとき、心の落ち着きを取り戻す方法を日頃から準備しておくことが大切なのです。

「アンガーマネジメント」という心理トレーニングがあるようにビジネスの場においても平常心を保つのは重要なことです。想定外が起こった時、お客様との意思疎通に誤差が生じた時など、我々が行う商談においても臨機応変にそして迅速で最良な決断を迫られるケースがあります。この時人間は本能的に危機感を抱き、冷静さを欠いてしまいがちになりますが心のトレーニングを普段から行っていれば不測の事態にも臆することなく対応できますし誤った判断を回避できるのではないのでしょうか。正常な判断、行動が取れる思考に戻す手段を自分なりに探求しておくことが必要です。

変化が急速に進み情報が飛び交う時代となった今、誰もが心の余裕がなくなり窮屈な考え方になりがちです。しかし人間ならではの感性を磨くこと、心のマネージメントを忘れてはならないと思っています。うまく事が運ばなくても一度心を落ち着かせて俯瞰的に考えてみましょう、視野が広がれば見える景色も違ってきます。失敗しても他責せず原因追究して再チャレンジしてみましょう、向上心が自身の成長につながります。時間と心に余裕を持つようにしましょう、落ち着きがパフォーマンスを上昇させます。何か1つ、自分で「心」の調整方法を設けてみてはいかがでしょうか。



大石機械株式会社  
富士沼津支店  
支店長

杉山直哉





## 私の 健康法



大日金属工業株式会社  
中部営業

長井 友 弥

大日金属工業株式会社 中部営業の長井と申します。

私が自発的に取り組んでいる健康法、最近気づいた健康法について紹介させていただきます。

まず取り組んでいる健康法1つ目は納豆を毎日食べることです。

自宅で食事をとる日は、朝食もしくは夕食時に納豆を食べます。かれこれ7年ほど続いています。始めたのはテレビで「お医者さんが毎日食べるもの」という特集が組まれておりその中で納豆があがっていたからという単純な理由です。栄養価が高く、血液をサラサラにする効果がある、腸内環境も整え、カロリーも低くヘルシーということでもいいことしかないと考えたことを記憶しています。またスーパーなどで安価に購入できる点も続けようと思えたきっかけです。実際になにか実感があるわけではないですが、健康診断の数値が悪くないのはこのおかげだと思い込んでいます。

2つ目は24Hのジムに通っていることです。今年の1月に契約し週1～2回を目標に通っています。体を鍛えようと思って始めましたが、最近では筋トレ、ランニングをしてたくさん汗をかくことで気持ちやすっきりするという感覚があります。メンタル的にも健康になっている気がしています。また仕事上、担当エリアが広いこともあり出張もよくあります。通っているジムは全国に店舗があり出張先でも気軽に行けます。出張が多い方にもおすすめです。

ここからは最近気づいた健康法について紹介させていただきます。

私には2人の息子がおります。平日早く帰れた日には一緒に夕食をとり、お風呂に入り、21時～22時には寝ます。そして彼らは6時～6時半に起きるため一緒に起きます。週末は一緒に公園に行き、虫取りをしたり遊具で遊んだりします。帰ってきたら手洗いうがいをしっかりさせます。食事では嫌いなものでも1回は食べるようにというルールがあります。このように子どもに合わせた生活リズム、手洗いうがいなどの子供にしてほしいことを自分も一緒になってやるということで規則正しい生活となり体調がいいのではと思いました。子どもは保育園でよく風邪をもらってきたりしますが、私はここ最近まったく体調を崩していません。子どもが産まれる前までは夜更かしも多く、食事好きなものを好きだけ食べ、食べる時間もバラバラで定期的に体調を崩しておりました。それが無くなってきたということで生活リズムの大切さに気づかされました。今は特に意識していなくても子どもと同じ生活リズムになっているので成り立っていますが、子どもたちが成長していく中で彼らのリズムが変わっていくことを考えるとその時には自分で自身の生活リズムを作らねばと感じています。

以上、わたくし事が多く参考にならないかと思いますが最後まで読んでいただきありがとうございます。

自社  
紹介

# 我が社の履歴書



フリガナ	ウエダキカイカブシキガイシャ
社名	<b>植田機械株式会社</b>

本社所在地	設立	資本金	代表者
〒577-0012 大阪府東大阪市長田東 5丁目1番18号	1965年6月1日	4,200万円	代表取締役社長 植田 修平

私たち植田機械株式会社は、1965年創業、金型製造業界並びに精密加工部品を主な取引先とし業界の発展と共に新しいモノ造りの情報を提供出来る金型設備総合商社として社会貢献を目指す会社です。

弊社は「誠」を社是に、「貢献する」・「信頼される」・「夢のある」を社訓とし、お客様を核としてメーカー様と一体となり“もの造り”の革新に努めて参り、皆様のご支援のお陰で今日を迎える事が出来ました。

創業者 植田精一は、“金型”が政府で重要産業項目に指定されている事から日本の産業発展を考え、金型設備総合商社とし専念して参りました。近年ではグローバル化に伴い省人・省力・DXに依る製造業分布が変化すると共に、コスト競争も更に厳しくなる中、“もの造り”立国日本の精密加工技術でイノベーションに依り、「ジャパンプランド」商品を創出する事でしょう。

精密加工分野においても今日まで多くの実績を作って参りました。そしてこれからも、新しい時代に向けてお客様への最新情報の提供・メンテナンス及びサービスに至る迄のトータルサポートを真剣に取り組んで参ります。

事業内容といたしましては、金型工作機械・鍛圧・成型機械の販売並びに関わる一切の業務・CAD/CAM/CAEシステムは本社 UMS 事業部にて金型支援 CAD/CAM/CAE ソフト VERO 社製“VISI シリーズ”・オートマチック CAM ソフト VERO 社製“WORKNC”・多彩機能 CAM ソフト 牧野フライス製“FFCAM”の販売及び立上げ支援及びサポート業務全般、又名古屋支店には ICS 事業部としハイエンド統合 CAD/CAM/CAE ソフト NX の販売、立上げ支援及びサポート業務全般に努めております。



弊社海外としましては、日本国内同様のサービスをご提供できる拠点とし中国・タイに展開しております。現在のグローバル化に対応し、海外においてもお客様に様々な情報をより早くお届けし、設備に関するご相談は元より、貿易に関する支援等も助力できる拠点になれるよう日々努力しております。また海外で得た情報を日本国内に発信し、微力ではありますが未来における強い日本・もの造りの日本を支える皆様のお力になれるように努めて参ります。

弊社展示会のご案内といたしまして、来年2025年1月30日（木）～31日（金）2日間第11回 UM モールドフェア“アフター JIMTOF”（大阪市住之江区 インテックス大阪5号館にて）が開催されます。弊社創業60周年を迎える記念の年でもあり、“省人・省力・DX化”をテーマに皆様へ最新情報のご提供をさせていただきますので、多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

国内5拠点			
■本社	大阪府東大阪市	■UMS事業部（CAD/CAM/CAE）	本社内
■東京支店	東京都杉並区		
■名古屋支店	愛知県名古屋市	■ICS事業部（CAD/CAM/CAE）	名古屋支店内
■九州支店	佐賀県鳥栖市		
■仙台営業所	宮城県仙台市		

海外2拠点	
■中国	廈門植田機械貿易有限公司
■タイ	UEDA MACHINE TOOLS (THAILAND) CO.,LTD

植田機械株式会社  
 上席執行役員  
 国内統括副本部長  
**金 沢 龍 浩**



## 工作機械と私



株式会社大誠  
営業部  
課長

佐藤 竜 彰

皆様初めまして、株式会社大誠の佐藤と申します。

「工作機械と私」というテーマで寄稿のご依頼を受け、私の個人的経験を1つご紹介させていただきます。

4年程前、自動組付設備2ライン受注の機会がありました。

メインとなる部品へ3種類の小部品を自動で組付けカシメを行う仕様の設備でした。しかし当初の設備メーカー様には小部品の形状が問題で供給困難を理由に辞退されました。次に相談させていただいたメーカー様にも部品図を見るなりお断りされました。

納期は決定しており内示後という事で、ただでさえ受けたがらない依頼を価格ありきで受けて頂けるメーカーを探さなければと大変焦りました。お客様に事情を説明したところで「依頼を受けて頂けるメーカーを早急に探してほしい」との事でした。それまでお取引の無いメーカー様へもアポイントを取り、飛び込みました。その内の1社で私が困っているのを見兼ねて、「先日の話だけど、やってみるか」というお返事を頂いた時は本当に嬉しく思いました。組付け設備の実績も少ないメーカー様で、中間立会い時にはお客様からホワイトボードに貼り切れない程のご指摘項目を頂く事となりました。それでもメーカー様は試行錯誤を重ね、1つずつ課題をクリアしてくれました。私も足繫くメーカー様の工場へ通い、休日出勤もしてご対応頂きました。8月連休の納入日当日には、ロボットをぶつける等のトラブルもあり、遅延の無いよう予定より増員して立上げ作業に専念頂きました。しかし連休明け初日の評価日には客先検収要件をクリア出来ませんでした。見に来られる役員様・責任者様の視線が大変痛かったです。結局全ての要件をクリアするのに2ヶ月程の時間を要しました。今でも関わったお客様にはネタにされます。

仕事の営業活動では、多くの方と関わりを持ちます。

お客様の現場においては、造る工作物の形に合わせて様々な工作機械が使い分けられています。工作機械の各々の特徴やメリットを少しでも知る事で、生産性をアップさせ、剛性のある最適な工作機械は何かを考える事に繋がれば良いと思います。

またお客様との会話から真意や設備構想を汲み取り、メーカー・設備の提案を行う為、それを聞き出せる、お客様との信頼関係が大変重要であると感じます。

他人のやりたがらない依頼でも引き受け、仕事の大小や面白さなどを取り組む前から決めつけず、自分の成長につながるように取り組めたら良いです。その上で、お客様に喜ばれた時に自分自身でも達成感を感じられると思います。

IoTによる保守やAIとの連携、自動化等により工作機械は進化し続けています。

展示会等にも積極的に参加し、知識面でも遅れないよう継続的に情報を取り込む事が出来る環境にいたいと思います。





# 統計資料

## 工作機械・FA流通動態調査1

### 統計1

単位) 百万円

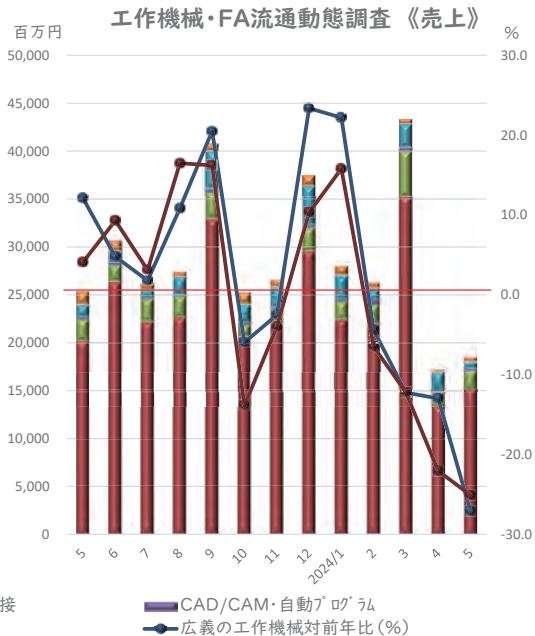
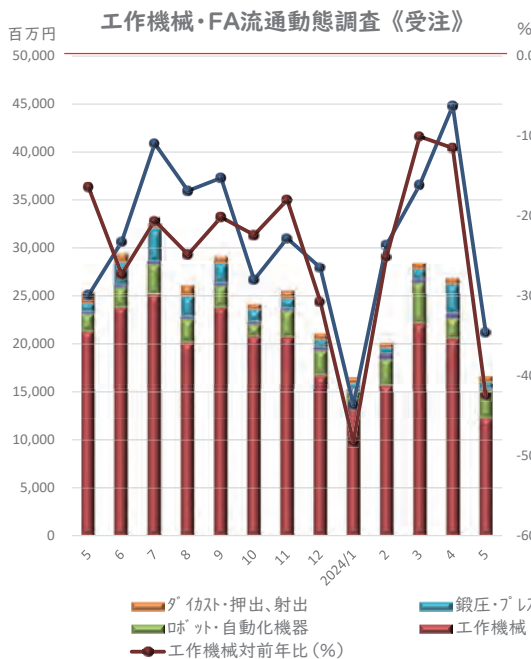
37社合計		受注				売上					
調査月次		2024/05	前月比	前年比	2024/01 ~2024/05	前年度比	2024/05	前月比	前年比	2024/01 ~2024/05	前年度比
広義の 工作機械	工作機械	12,259	-40.4%	-42.5%	84,270	-27.6%	15,156	13.8%	-25.1%	108,157	-10.1%
	ロボット・自動化機器	2,917	38.1%	59.3%	13,397	12.6%	1,965	28.4%	-11.0%	12,092	8.2%
	CAD/CAP・自動プログラム	180	-65.6%	-8.1%	1,943	37.6%	238	-12.1%	-8.6%	1,804	21.6%
	鍛圧・プレス・溶接	640	-79.0%	-27.8%	5,753	-41.7%	674	-62.9%	-47.0%	8,334	30.4%
	ダイキャスト・押出・射出	618	9.0%	-47.3%	3,080	-19.6%	456	97.3%	-67.1%	2,715	-48.9%
	小計	16,613	-38.0%	-34.6%	108,443	-24.4%	18,489	7.7%	-27.1%	133,102	-8.0%
工作機械以外の扱い商品		31,545	5.5%	1.3%	170,254	25.1%	30,459	16.9%	16.2%	160,136	8.0%
合計		48,158	-15.1%	-14.8%	278,697	-0.3%	48,947	13.2%	-5.1%	293,238	0.1%
従業員数		1,661	1.2%	3.9%							

### 統計2

単位) 百万円

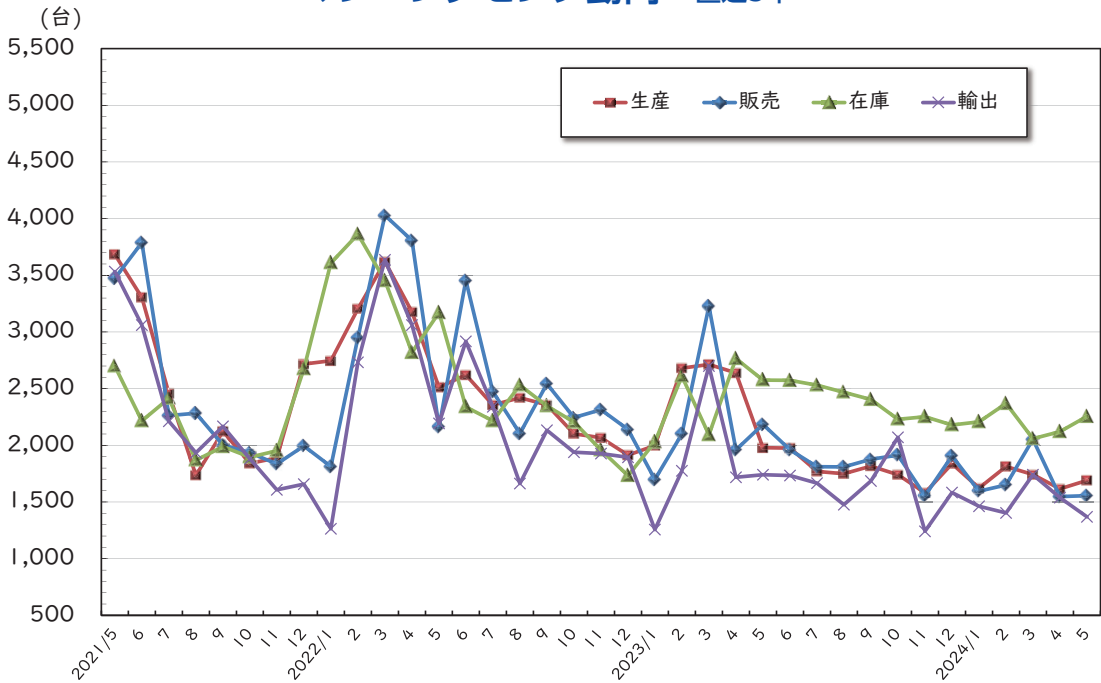
28社合計		受注				売上					
調査月次		2024/05	前月比	前年比	2024/01 ~2024/05	前年度比	2024/05	前月比	前年比	2024/01 ~2024/05	前年度比
内訳	直販	21,812	-20.3%	12.1%	122,977	5.1%	21,467	24.6%	-1.3%	127,576	8.3%
	(内リース)	335	-35.9%	-18.7%	2,345	-17.2%	520	14.0%	-36.4%	3,822	-16.0%
	卸	6,256	-20.4%	-18.1%	32,940	-15.2%	4,974	15.4%	-18.8%	36,953	-7.3%
	輸入	4,406	124.1%	38.5%	13,400	2.7%	1,572	-22.7%	-19.7%	14,555	9.3%
	輸出	8,681	-28.6%	-53.7%	68,422	3.1%	12,224	7.4%	-14.1%	59,360	-22.0%
	(内間接輸出)	965	-65.8%	-13.0%	9,219	54.8%	1,202	60.2%	25.5%	7,380	24.1%
従業員数		1,167	1.8%	3.8%							

注: 会員80社中、統計1に関しては37社、統計2に関しては28社の回答を得て集計したものである。  
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比であり、データ提供会社総数は40社である。

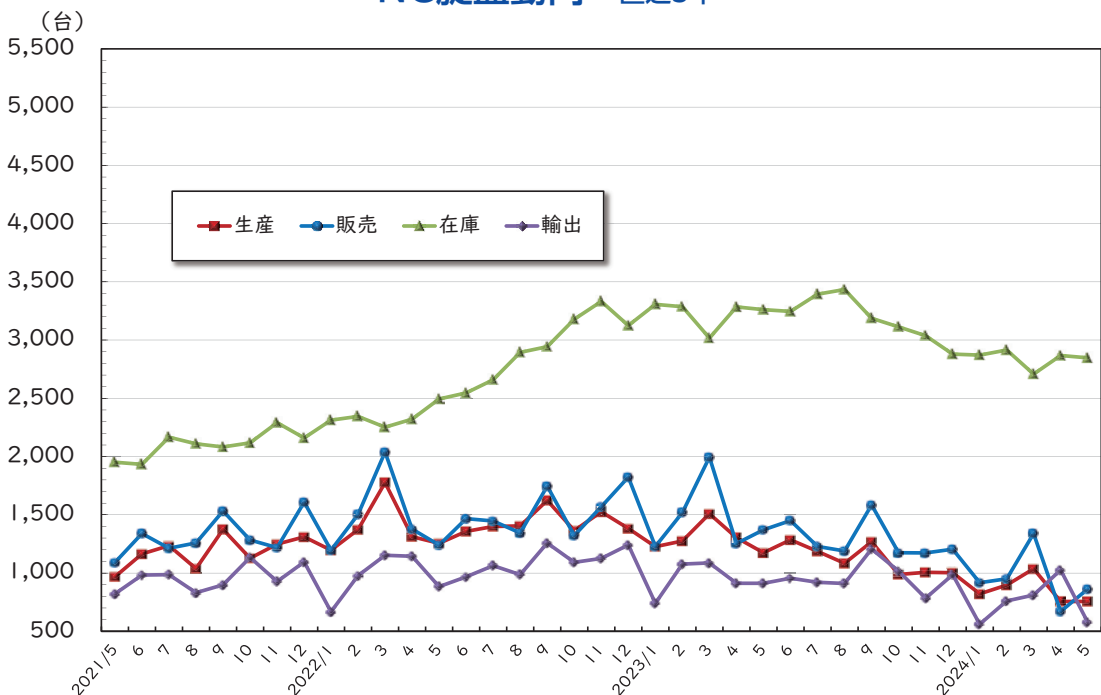


# 見てわかる 3年間の代表2機種トレンド

## マシニングセンタ動向 ~直近3年~



## NC旋盤動向 ~直近3年~



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

# 工作機械業種別受注額(2024年5月)

2024年6月25日発表

(単位:百万円)

需要業種	期間	23年累計	前年比	23/10-23/12 累計	24/01-24/03 累計	前期比	前年同期比	24/01-24/05 累計	前年同期比	05月分	前月比	前年同月比
機械製造業	1. 鉄鋼・非鉄金屬	16,345	83.1	2,776	3,748	135	76.2	6,037	79.0	919	67.1	63.0
	2. 金屬製品	36,813	72.8	7,010	9,444	134.7	83.1	14,234	85.9	2,049	74.8	80.1
	3. 一般機械 (うち金型)	203,557	83.6	41,036	45,992	112.1	81.2	73,180	78.1	14,360	111.9	81.5
	4. 自動車 (うち自動車部品)	28,189	81.8	5,116	5,321	104	62.9	7,502	53.9	1,044	91.8	62.5
	5. 電気機械	100,588	74.7	26,103	23,208	88.9	94.3	39,768	98.1	7,716	87.2	98.6
	6. 精密機械	73,519	79.1	19,047	17,098	89.8	95.4	29,180	99.2	5,623	87.1	101.6
	7. 航空機・造船・運送用機械 (うち航空機)	36,272	63.7	5,618	9,582	170.6	76.3	13,873	77.7	2,167	102	85.1
	8. その他製造業	21,430	72.6	5,793	5,506	95	84.6	9,985	108.6	2,206	97.1	198.9
	9. 官公需・学校	57,702	66.7	11,411	15,088	132.2	79.2	23,858	88.2	4,373	99.5	119.6
	10. その他需要部門	20,172	107.0	6,030	4,974	82.5	98.8	9,689	110.0	2,038	76.1	113.0
	11. 商社・代理店	8,509	146.9	2,631	2,310	87.8	104.1	5,015	133.4	1,326	96.2	109.0
	12. 外需	382,019	79.0	84,580	89,262	105.5	84.8	146,495	86.1	28,487	99.1	92.2
	12. 受注累計 (内NC機)	1,486,519	84.5	355,040	360,818	101.6	91.5	606,250	93.8	124,530	103	104.2
		1,463,024	84.7	349,641	355,691	101.7	91.6	596,163	93.5	122,607	104	103.8

販売額	1,616,581	103.1	405,723	389,590	96.0	88.2	599,287	88.2	113,085	117.1	90.6
(内NC機)	1,591,253	103	399,214	382,228	95.7	87.7	589,240	87.9	111,702	117.2	90.9
受注残高	785,775	87.6	785,775	757,003	96.3	89.2	792,738	91.8	792,738	101.5	91.8
(内NC機)	760,531	87.5	760,531	733,994	96.5	89.3	767,454	91.7	767,454	101.4	91.7

出所 (一社)日本工作機械工業会



# 議事録

## 第311回定例理事会議事録

日 時：2024年7月3日(水) 14:00～16:30  
場 所：専売会館 8階 専売ホール (Web 併用)  
出 席 者：会長、副会長3名、専務理事、理事19名、監事2名

会長挨拶の後、審議に入った。

### [付議事項]

#### 1. JIMTOF2024への参加形態：

資料に基づき専務理事より説明。6月18日開催の調査広報委員会で討議結果として、パッケージブースを採用し、経費の概算を含めて提示。特に異議なく承認された。

#### 2. 日工販 HP の更新について：

資料に基づき専務理事より説明。本件も調査広報委員会での討議結果、複数社見積もりのうちから1社を選定する旨説明。特に異議なく了承された。

#### 3. 新規正会員入会の件：

専務理事より説明。東部地区新会員として「ツールドインターナショナル株式会社」を迎える件。特に異議なく了承された。

### [報告事項]

#### (1) 第55回総会報告：

専務理事より説明。総会での会員代表者出席数36、代表者代理人9、事前郵送委任状26で有効議決権数71。会員総数81ゆえ、有効に総会は成立。記念講演の参加社数84社、参加人数119名、懇親パーティは社数93、参加人数159名。

#### (2) 2024年度新体制：

総会の結果を受け、島津理事・岡本理事が副会長に正式に選任された。

#### (3) 西部地区正副懇談会(5/22)

西部地区委員長より説明。本年度のスケジュールと新体制を説明後、会員各社と懇談、懇親会を開催。

#### (4) 調査広報委員会(6/18)

調査広報委員長より説明。

JIMTOF2024とHP更新について協議。JIMTOF座談会は11月7日に開催する。HPについては、ワードプレスの脆弱性についての指摘もあったが、一番採用率が高く、また定期的にアップデートすることで対応可能と判断しているとの補足説明があった。

#### (5) 基礎講座報告：

専務理事より説明。本年度は座学の終了状況が例年に比し良かった。

#### (6) 流通動態調査2024年5月：

最近、流通動態調査の数字が良くない。日工販会員各社の数字が厳しいと言わざるを得ない。



## 西部地区 正会員懇談会

日 時：2024年5月22日（水）17:00～20:00  
 場 所：大阪上本町 りき六  
 出席者：西部地区正会員 12社 12名

### [審議内容]

1. 直近理事会内容の報告（共有）
2. 西部地区 副会長の交代の件  
 赤澤正道氏（赤澤機械(株) 代表取締役社長）→ 岡本 淳氏（宮脇機械プラント(株) 代表取締役社長）  
 6月5日の総会で正式決定。）
3. 2024年度 西部地区の行事スケジュールについて
  - ① 7月 17日 西部地区懇親ゴルフ（場所：センチュリー三木 G.C.）
  - ② 9月 12日 研修会（場所：大阪産業創造会館）
  - ③ 10月 10日 JIMTOF2024 出展機勉強会（場所：大阪産業創造会館）
  - ④ 12月 4日 西部地区忘年懇談懇親会（場所：新大阪江坂東急 REI ホテル）
  - ⑤ 1月 or 2月 新年時局講演会
  - ⑥ 3月 12日 西部地区正・副会員情報交換会（場所：新大阪江坂東急 REI ホテル）

### お知らせ

## 日工販ニュース表紙写真の公募について

日工販ニュースを楽しく、また手に取っていただきやすい機関誌にしたいという思いから、表紙にその季節折々の写真を掲載することとしています。

そこで、以下要領により読者の皆様から表紙写真を公募しますので奮ってご応募ください。

### 1. 対象写真

年5回の発刊月（5月、7月、11月、1月、2月）に合わせた写真（1枚以上）

※複数枚ご送付いただいた場合は、選定は事務局にて実施します。

※被写体は「風景」にこだわられません。季節を感じさせるものであれば何でも可。



### 2. 送付手段

以下要領により、電子データにてご送付をお願いします。

①日工販事務局宛てメールに添付：jmta@nikkohan.or.jp メール件名：『日工販ニュース』表紙写真（応募）

②大容量ファイル配信ツール（『FireStorage』など）等の利用で送付

③USBやCD等による送付（媒体返却を希望する場合は「返却要」のメモを同封してください）

※上記いずれの場合も、以下事項を必ず添えてください。・「撮影された方の会社名・所属部署・役職・氏名」・「掲載希望発刊月」・「撮影した場所や対象（風景の場合）、あるいは写真のタイトル」

### 3. 採否の連絡

採用された写真をご送付いただいた方には、当該写真が掲載された『日工販ニュース』および御礼としてQUOカードを送付させていただきます。採用の連絡は発送を以て代えさせていただきますが、後々の掲載に備えてご送付いただいた写真は事務局でストックしていくため、適用月に掲載されない場合でも不採用の連絡はいたしませんので予めご了承ください。

## ■ 会員消息

### 入会〔正会員〕

2024年8月1日（7月3日理事会承認）  
ツールドインターナショナル株式会社  
代表取締役 大藪 誠  
〒156-0055 東京都世田谷区船橋一丁目30番3号 エグゼクティブ船橋2B  
TEL：03-3427-7937 FAX：03-3427-7938  
〈事業内容〉 切削工具の販売、塗料の販売等 <https://toolde.co.jp/>

### 退会〔賛助会員（リース）〕

2024年5月31日  
首都圏リース株式会社  
昭和リース株式会社

## ■ 編集後記

6月15日に出された日本気象協会の予想によると、今年は梅雨入りが遅れたものの、梅雨は短期集中型になる可能性があるとのことでした。降水量という観点では、梅雨入り直後から大雨になり、梅雨末期の豪雨にも警戒が必要だそうです。また、気になる今夏の気温ですが、ラニーニャ現象の発生に向かう影響で、今年の夏も暑くなる、猛暑となる見込みだそうです。皆様暑さ対策を十分に行っていただきたいと思います。

ところで、7月を代表する日本の伝統的な花のひとつに「朝顔（アサガオ）」があります。アサガオはつるを伸ばして成長するので古くから日よけに利用されてきました。皆様のお宅でもアサガオ、ヘチマやゴーヤといった植物を栽培し夏の日よけ対策にされている方もあろうかと思いますが。今年の夏の電力が供給不足とならぬよう個人でも会社でも工夫して「節電」に努め、「良い夏」を過ごしたいと思います。〔中村〕

日工販 NEWS 作製業務において、皆様からお預かりした原稿を多く読ませていただく機会に恵まれます。原稿を作成される皆様は通常業務を廻しながらの“仕事”になっているでしょうから、大変な思いをされているであろうことはこの上な

く申し訳なく感じています。いつもご協力を頂いています事は、この場をお借りして厚く御礼申し上げる次第です。

この業務を担当するようになって“日本語”の正しい使い方を、（使っているかは別として）以前にも増して意識するようになってきました。最近ではテレビ朝日の朝の番組の一部コーナーである「林修のことは検定」を必ず見るようにしていますが、ほとんど知らない知識ばかりで勉強になっています。海外の言語を使えないというのもあるのですが、せめて日本語だけでももう少し正しく使えるようになりたいと、この歳になって思い始めています。方言も大切に扱っていきたいですね。上京してきた40年ほど前、大分弁がつい口に出て顔が火照ったことを懐かしく感じます。「言葉を大事にする」という意味で、「地方の言葉に由来する営業トーク」コーナーなどを設けてみたいですね。その地方独特の言い回しのもので“これは営業トークではこんな時によく使われる”とか、“この言葉を使えば、気持ちが打ち解けることまず間違いない”とか、楽しく読んで参考にもなる・・・皆さんいかがでしょうか。〔池邊〕

お問い合わせ・ご意見をお寄せください。 ■ E-mail : [jmta@nikkohan.or.jp](mailto:jmta@nikkohan.or.jp)

## 日工販NEWS July 2024

2024年7月発行

発行 日本工作機械販売協会  
〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 専売ビル3階  
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879

発行責任者 専務理事 中島 和彦

編集 日工販調査広報委員会  
委員長 久富 常之（丸紅テクノシステム株式会社）  
委員 君村 義人（伊藤忠マシンテクノス株式会社）  
中村 龍二（株式会社トミタ）  
金子 智彦（三菱商事テクノス株式会社）  
長友林太郎（株式会社牧野フライス製作所）  
伊藤 真（三井住友ファイナンス&リース株式会社）

制作・印刷 株式会社昌文社  
〒108-0014 東京都港区芝5-26-30  
電話 03-3452-4931 <http://www.sho-shiba.com>

正会員 (全82社)

東部地区 (37社)

(株) 旭 商 工 社  
 アルビテクノロジー(株)  
 伊藤忠マシントクノス(株)  
 イワイ機械(株)  
 (株) ウインテック  
 大石機械(株)  
 (株) カナデン  
 (株) カネコ・コーポレーション  
 (株) 兼松 K G K  
 (株) 京 二  
 (株) 共和工機  
 (株) 群馬工機  
 (株) 小 林 機 械  
 (株) 佐藤商事  
 (株) 三 機 商 会  
 三 洋 マ シ ン  
 サ ン ワ 産 業  
 シ マ モ ト 技 研  
 住友商事マシネックス(株)  
 (株) セイロジャパン  
 誠和エンジニアリング(株)  
 双日マシナリー(株)  
 ツールドインターナショナル(株)  
 帝通エンジニアリング(株)  
 (株) テ ヅ カ  
 (株) ト ミ タ  
 (株) 豊 通 マ シ ナ リ  
 日 鋼 Y P K 商 事  
 (株) 日 清 機 工  
 丸 紅 テ ク ノ シ ス テ ム  
 三 井 物 産 マ シ ン テ ッ ク  
 三 菱 商 事 テ ク ノ ス  
 (株) ヤ マ モ リ  
 ユ ア サ 商 事  
 米 沢 工 機

中部地区 (23社)

石 原 商 事 (株)  
 (株) 井 高  
 岡 谷 機 販 (株)  
 力 ト 一 機 械 (株)  
 釜 屋 商 事 (株)  
 岐 阜 機 械 商 事 (株)  
 甲 信 商 事 (株)  
 三 栄 商 事 (株)  
 (株) 三 機 械  
 サ ン コ 一 商 事 (株)  
 三 立 興 産 (株)  
 三 下 野 機 械 (株)  
 (株) 大 大 成  
 (株) 大 大 誠  
 (株) 大 和 商 会

(株) 東 陽  
 (株) 日 本 精 機 商 会  
 浜 松 貿 易 (株)  
 (株) 不 二  
 三 菱 電 機 メ カ ト ロ ン ク ス テ ク ノ ロ ジ ー (株)  
 山 下 機 械 (株)  
 (株) U - M A C H I N E  
 ワ シ ノ 商 事 (株)

西部地区 (22社)

赤 澤 機 械 (株)  
 伊 吹 産 業 (株)  
 植 田 機 械 (株)  
 O T フ ァ テ ッ ク (株)  
 関 西 機 械 (株)  
 合 田 商 事 (株)  
 五 誠 機 械 産 業 (株)  
 桜 井 機 械 (株)  
 (株) ジ ー ネ ッ ト  
 (株) ダ イ イ チ テ ク ノ  
 大 幸 産 業 (株)  
 (株) 立 花 エ レ テ ッ ク  
 (株) タ ナ 力 善  
 西 川 産 業 (株)  
 日 工 機 材 (株)  
 (株) ニ ッ ツ マ シ ナ リ  
 日 本 産 商 (株)  
 (株) マ ッ ク マ シ ン ツ ー  
 (株) マ ル 力  
 宮 脇 機 械 プ ラ ン ト (株)  
 (株) 山 善

賛助会員 (全75社)

製造業 (68社)

アイダエンジニアリング(株)  
 (株) ア マ ダ マ シ ナ リ  
 育 良 精 機 (株)  
 エヌティーツール(株)  
 (株) M S T コ ー ポ レ ー シ ョ ン  
 (同) L N S ジ ャ パ ン  
 エ ン シ ュ ウ (株)  
 オ ー エ ス ジ ー (株)  
 (株) オ ー エ ム 製 作 所  
 オ ー ク マ (株)  
 (株) 岡 本 工 作 機 械 製 作 所  
 (株) 神 崎 高 級 工 機 製 作 所  
 (株) 北 川 鉄 工 所  
 (株) キ タ ム ラ 機 械  
 (株) 北 村 製 作 所  
 (株) キ ャ ド マ ッ ク  
 (株) キ ャ ム タ ス  
 黒 田 精 工 (株)  
 三 愛 エ コ シ ス テ ム (株)  
 サ ン ド ビ ッ ク (株)  
 三 宝 精 機 工 業 株 式 会 社

(株) C & G シ ス テ ム  
 (株) ジ ェ イ テ ク ト  
 (株) シ ギ ヤ 精 機 製 作 所  
 シ チ ズ ン マ シ ナ リ ー (株)  
 芝 浦 機 械 (株)  
 新 日 本 工 機 (株)  
 住 友 電 気 工 業 (株)  
 (株) ソ デ イ ッ ク  
 大 日 金 属 工 業 (株)  
 (株) 太 陽 工 機  
 高 松 機 械 工 業 (株)  
 (株) T A K I S A W A  
 (株) ツ ガ ミ  
 津 田 駒 工 業 (株)  
 D M G 森 精 機 (株)  
 (株) 東 京 精 機 工 作 所  
 (株) 東 京 精 密  
 (株) 東 洋 精 機 工 業  
 (株) ナ ガ セ イ ン テ グ レ ッ ク ス  
 中 村 留 精 密 工 業 (株)  
 (株) 西 田 機 械 工 作 所  
 (株) 日 研 工 作 所  
 (株) 日 進 製 作 所  
 ニ デ ッ ク オ ー ケ ー ケ ー (株)  
 ニ デ ッ ク マ シ ン ツ ー ル (株)  
 ハ イ デ ン ハ イ ン (株)  
 (株) 長 谷 川 機 械 製 作 所  
 (株) 初 田 製 作 所  
 浜 井 産 業 (株)  
 浜 名 エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株)  
 B I G D A I S H O W A (株)  
 フ ァ ナ ッ ク (株)  
 (株) F U J I  
 二 村 機 器 (株)  
 ブ ラ ザ ー 工 業 (株)  
 豊 和 工 業 (株)  
 牧 野 フ ラ イ ス 精 機 (株)  
 (株) 牧 野 フ ラ イ ス 製 作 所  
 (株) 松 浦 機 械 製 作 所  
 三 井 精 機 工 業 (株)  
 (株) ミ ツ ト ヨ  
 三 菱 電 機 (株)  
 三 菱 マ テ リ ア ル (株)  
 (株) M O L D I N O  
 安 田 工 業 (株)  
 ヤ マ ザ キ マ ザ ッ ク (株)  
 吉 川 鐵 工 (株)

リース業 (7社)

共 友 リ ー ス (株)  
 J A 三 井 リ ー ス (株)  
 十 六 リ ー ス (株)  
 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)  
 三井住友ファイナンス&リース(株)  
 三 菱 H C キ ャ ピ タ ル (株)  
 三 菱 電 機 フ ィ ナ ン シ ャ ル ソ リ ュ ー シ ョ ンズ (株)



## 日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル

TEL.03-3454-7951 FAX.03-3452-7879

<http://www.nikkohan.or.jp>